

＜津村泰範氏略歴＞

＜津村泰範（つむらやすのり）氏紹介＞

長岡造形大学建築・環境デザイン学科准教授、修復建築家、一級建築士

1997年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程(藤森研究室)修了。

1997年 株式会社降幡建築設計事務所(長野県松本市・安曇野市)入社。

主に木造住宅を中心とした建築設計監理(新築・古民家再生)に携わり、中房温泉の施設群、旧松林家再生(稲荷山宿蔵し館)、安曇野高橋節郎記念美術館生家展示館再生、巢山家住宅水廻り部再生などを担当(調査・設計・監理)する。

2004年 株式会社文化財保存計画協会(東京都千代田区)入社。

史跡の復元整備並びに管理施設の設計監理、文化財建造物の修理設計監理・保存活用計画策定・技術指導等に携わり、旧細川侯爵邸(和敬塾本館)部分修理、旧甲府城跡山手御門(櫓門・高麗門)築造(復元)、平出遺跡ガイダンス施設新築、旧下関市役所第一別館(旧通信省下関郵便局電話課庁舎)保存整備、旧三井三池炭鉱万田坑施設第二堅坑櫓/巻揚機室保存修理・職場保存整備、旧東京中央郵便局プロジェクト、旧有備館および庭園耐震補強・災害復旧、志波城古代公園整備/案内所新築、岩手銀行(旧盛岡銀行)旧本店本館保存修理・整備活用、国立西洋美術館保存活用計画、みはらし亭などを担当(調査・設計・監理・技術指導・報告書作成)する。

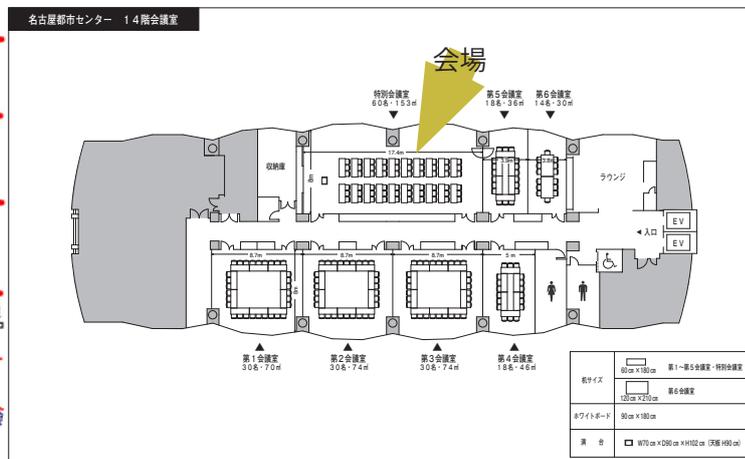
その他勤務先業務の傍ら、個人業績(いずれも共同で調査・設計・監理)として、ヒアシンスハウス夢の継承事業、クロスケの家(旧和田家住宅)再生を行う。

2016年 公立大学法人 長岡造形大学(新潟県長岡市)着任。現在に至る。

建築保存・再生・継承・景観保全の計画/まちづくりの実践的研究および教育に従事し、東京都江戸東京博物館運営委員会たてもの園復元建造物部会・専門委員、長岡市空家等対策協議会副会長、長岡まちなかリノベーションサポートセンター(まちばん)代表、聖籠町文化財調査審議会委員、佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議委員、村上市伝統的建造物群保存地区保存活用審議会委員、岩手県文化財審議委員、京都芸術大学スクーリング「歴史遺産II-1(文化遺産学基礎)」講師、京都工芸繊維大学ヘリテージアーキテクト養成講座講師などを務める。

＜著書＞

『20世紀建築研究』(共著)『民家再生の設計手法』(共著)など。論文に「近代住宅遺産を継承する制度づくりの実践 神奈川県葉山町の別荘建築の継承を対象として」(共著・住総研研究論文集・実践研究報告集44巻(2018))、「文化財建造物の木摺り漆喰天井における浸透性樹脂を用いた補修工法の実施工検討」(共著・日本建築学会技術報告集23巻55号(2017))など。



名古屋都市センター 14階フロア案内

なごや歴まち・連続セミナー Vol.2 参加申込書 申込締切 2023年3月6日(月)

ふりがな
氏名

NPO 歴まちの会会員・一般 いづれかに○をつけてください

住所

TEL:

FAX:

E-mail :

緊急時連絡先(ご自身以外) TEL :

※氏名/住所など明記の上、下記宛先へお申込みください(FAXはメールが不便な方のみでお願いします)

※問合せも、下記宛先へご連絡ください

E-mail : follow-up@758rekimachi.net <歴まちフォローアップ委員会>

FAX:052-799-5311

鈴木祥司(アトリエ祥建築設計)

